

指定管理者評価票（平成30年度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町立むさしの保育園
 担当部課係：福祉部 子育て応援課 保育・幼稚園係

1 指定管理者の名称	社会福祉法人 高峰福祉会
2 指定管理の期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日までの5年間
3 指定管理の目的及び求める効果	女性の社会進出や少子化対策などの面から保護者の要望が多様化しており、その実現を図って行くうえで、民間活力の導入により、様々な保育ニーズに対し、柔軟に対応していく。
4 指定管理の業務内容	1 公の保育園として、公平な運営を行うこと 2 入所児童の処遇向上に努めること 3 現行の保育事業の継続性を保つこと 4 個人情報の保護と適切な管理を行うこと 5 効率的運営を行うこと
5 施設の概要	
(1)施設及びサービスの内容	地域に開かれた保育園であると同時に、子育ての知識・経験・技術を活用し、子どもの健全育成及び子育て家族の支援を図る。
(2)規模	敷地面積：1,911.66 m ² 建物面積：741.45 m ² （幼児棟：497.44m ² ・乳児棟：244.01m ² ） 構造：鉄筋コンクリート造
(3)設備内容	幼児棟：保育室、遊戯室、事務室、休憩室、給食室、食品庫、 便所、シャワー室、玄関 乳児棟：保育室、事務室兼医務室、職員休憩室、配膳室、 調乳室、沐浴室、便所、布団庫、玄関
(4)設置年月及び経過年数（導入時）	幼児棟：昭和46年4月1日、経過年数37年 乳児棟：平成15年4月1日、経過年数15年 （導入後12年経過）
(5)建設費用	むさしの保育園等増改築工事（乳児棟）：95,550,000円 （平成14年度）
(6)大規模改修の経緯と費用	●トイレ増設工事：職員用トイレ不足による増設、工事費1,606,500円（平成18年度） ●乳児棟北側出入口設置工事：出入口が1箇所しかないことから園児用出入口を設置、工事費2,037,000円（平成22年度） ●幼児棟テラス改修工事：経年劣化による腐食を改善し、園児の安全確保のために実施、工事費1,198,476円（平成26年度） ●屋根防水改修工事：経年劣化による腐食を改善し、良好な保育運営のために実施、工事費2,678,400円（平成27年度） ●屋根防水等改修工事：経年劣化による腐食を改善し、良好な保育運営のために実施、工事費2,513,160円（平成28年度）
(7)維持補修・改修の予定及び時期	●空調機設置工事（令和元年度）
6 指定管理における具体的な目標	
(1)利用者へのサービス水準の向上目標	園長をはじめ職員全員の資質の向上により、より良い保育事業を提供することが何よりのサービスであり、研修等に積極的かつ主体的に参加し、自己研鑽に励み、サービス水準の向上に努める。
(2)運営の効率化に関する目標	第三者評価の評価結果を基に、保護者からの意見・要望を踏まえ、保育運営の効率化を図る。
(3)施設維持管理費に関する削減目標	事業計画に沿った維持管理を行い、効率的な経費の削減を行う。
(4)その他の目標	園長会や研修会等を通じて、情報交換等をしてしながら互いにより良い保育を目指し、連携を図っていく。
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	平成30年度は、第三者評価・利用者アンケートを未実施とし、保育参加、誕生会や行事、懇談会、意見箱の設置等により、利用者の意見や不安、要望を把握した。面談等登降園時の保護者との対話を大切に、全職員共通による理解のもと対応するよう体制を整えている。

指定管理評価票（平成30年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町立むさしの保育園
 担当部課係： 福祉部 子育て応援課 保育・幼稚園係

業務評価指標

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	H31	H32
協定書・仕様書で示した事項	11時間開所(実施日数)	294	293	293	292		日
	延長保育(利用人数)	674	528	465	506		人
	産休明け保育	実施	実施	実施	実施		
	障害児保育(入所人数)	1	0	0	1		人
	一時保育(利用人数)	0	0	0	0		人
	アレルギー対応給食(除去食等提供人数)	2	1	2	1		人
開館日数等(条例で示した施設目的の達成度)	実開館日数	294	293	293	292		日
維持管理状態	冷暖房設備	1	1	1	1		回
	消防用設備	2	2	2	2		回
	清掃	3	3	3	3		回
	樹木整備	3	2	2	2		回
	管理専用水道検査	2	2	2	2		回
	修繕	4	5	8	7		か所
職員数の確保及び適切な配置 (※平成24年度分より追加)		国が定める保育士の配置基準に基づき配置	国が定める保育士の配置基準に基づき配置	国が定める保育士の配置基準に基づき配置	国が定める保育士の配置基準に基づき配置		

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	H31	H32
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		163,429,438	162,463,652	170,737,166	187,586,174		円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		2,720,675	2,557,555	42,080	1,341,140		円
職員の投入実態		425,000	425,000	425,000	425,000		円 (時間*人/週)
物品の提供実態		0	0	0	0		円
インプット指標合計		166,575,113	165,446,207	171,204,246	189,352,314		円
提供物品の名称と数量：		なし	なし	なし	なし		

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	H31	H32
施設延べ利用者数		1,466	1,493	1,493	1,428		人/年間
年齢別児童 時点：年度末 (カッコ内は町外園児で内数)	0歳児 定員 9名	9 (0人)	9 (0人)	9 (0人)	9 (0人)		人/年間
	1歳児 定員 15名	15 (0人)	15 (0人)	15 (0人)	14 (1人)		人/年間
	2歳児 定員 20名	18 (0人)	20 (0人)	20 (0人)	19 (0人)		人/年間
	3歳児 定員 23名	25 (0人)	25 (0人)	23 (0人)	23 (0人)		人/年間
	4歳児 定員 25名	27 (0人)	26 (1人)	26 (0人)	25 (0人)		人/年間
	5歳児 定員 28名	27 (0人)	28 (1人)	25 (0人)	28 (1人)		人/年間
	合計 定員 120名	121 (0人)	123 (2人)	118 (0人)	118 (2人)		人/年間
施設稼働率 (施設稼働日数及び貸出日数)	開園日数	294	293	293	292		日/年
	稼働日数	294	293	293	292		日/年
	稼働率	100%	100%	100%	100%		
利用料収入（延長保育料）		114,000	149,500	52,000	58,000		円

個人情報の保護	前指定末(H27)	①職員が知り得た個人情報は、全職員に守秘義務の徹底を図った。 ②保育園が提出を求めた家庭状況書等の個人情報関係の書類、園児の育成記録、児童表、健康管理票等は、事務室やサロンの施錠のできる棚で保管した。
	H28	①職員が知り得た個人情報は、全職員に守秘義務の徹底を図っている。 ②保育園が提出を求めた家庭状況書等の個人情報関係の書類、園児の育成記録、児童表、健康管理票等は、事務室やサロンの施錠のできる棚で保管した。
	H29	①職員が知り得た個人情報は、全職員に守秘義務の徹底を図っている。 ②保育園が提出を求めた家庭状況書等の個人情報関係の書類、園児の育成記録、児童表、健康管理票等は、事務室やサロンの施錠のできる棚で保管した。
	H30	①職員が知り得た個人情報は、全職員に守秘義務の徹底を図っている。 ②保育園が提出を求めた家庭状況書等の個人情報関係の書類、園児の育成記録、児童表、健康管理票等は、事務室やサロンの施錠のできる棚で保管した。
安全安心面からの管理運営	前指定末(H27)	①食育について…食材及び調味料は添加物、放射線に注意を払い、極力国産品を使用し、米は栄養価を考え胚芽米を使用した。薄味を心がけ、おやつは手作りとした。アレルギー児には代替食を提供した。 ②環境について…子どもたちが清潔で安全な環境の中で生活できるよう室内及び室外の清掃、整理整頓に努めた。また、各部屋には空気清浄機を設置した。さらに、定期的に園庭とグラウンドの石やゴミ拾いを実施した。遊具等の安全点検も定期的実施した。 ③子どもがぶつかり危険だと思われる箇所にクッション材で保護をした。 ④災害について…年1回の引き渡し訓練や毎月の避難訓練の実施により、避難経路や避難方法の確認等をするともに、生命を守る大切さを経験を通じ、園児に学ばせた。非常食の保管等の確認も定期的実施した。 ⑤防火管理者(園長)を中心として自主消防隊を設置し、日常的に点検や確認を実施し、予防に努め、万一の場合は、学校110番への非常通報により対処する。 ⑥不審者と疑わしい人には職員全員で対応し、その後、必要があれば、派出所に連絡をする。園児のお迎えの人の変更の連絡がない場合には渡さず、確認が取れた時点で引き渡すようにした。万一の場合には、学校110番への非常通報により対処する。 ⑦年齢に応じて危険なことが自覚できる指導を徹底した。 ⑧園外保育等では行き先や、園児の状況も考慮し、細心の注意を払いながら引率者数を決めた。 ⑨関係機関との連絡を密にし、誤りのない対応と被害を起こさない、もしくは被害を最小限度にとどめるよう努めた。 ⑩保護者と緊急時にも連絡が取れるように連絡網を整備した。
	H28	①食育…食材及び調味料は添加物、放射線に注意を払い、極力国産品を使用し、米は栄養価を考え胚芽米を使用した。薄味を心がけ、おやつは手作りとした。アレルギー児には代替食を提供した。 ②環境…子どもたちが清潔で安全な環境の中で生活できるよう室内及び室外の清掃、整理整頓に努めた。また、各部屋には空気清浄機を設置している。さらに、定期的に園庭とグラウンドの石やゴミ拾いを実施した。 ③子どもがぶつかり危険だと思われる箇所(室内及び園庭)をクッション材で保護し、安全性を高めた。 ④災害対策…年1回の引き渡し訓練や毎月の避難訓練の実施により、避難経路や避難方法の確認等をするともに、生命を守る大切さを経験を通じ園児に学ばせた。非常食の保管等の確認も定期的実施した。 ⑤防火管理者(園長)を中心として、自主消防隊を設置し、日常的に点検や確認を実施し予防に努め、万一の場合は、学校110番への非常通報により対処する体制を整えている。 ⑥不審者と疑われる人には職員が力を併せて対応し、その後、必要に応じ派出所に連絡をする体制を整えている。園児のお迎えの人の変更の連絡がない場合には引き渡しをせず、確認が取れた時点で引き渡すようにした。万一の場合には、学校110番への非常通報により対処する体制を整えている。また、福生警察署の協力及び指導のもと、不審者対応訓練や子どもへの指導を行った。 ⑦年齢に応じて危険なことが自覚できる指導を徹底した。 ⑧園外保育等では、行き先や園児の状況も考慮し、細心の注意を払いながら引率者数を決定した。 ⑨関係機関との連絡を密にし、誤りのない対応を心がけ、被害を起こさない、もしくは被害を最小限度にとどめるよう努めた。 ⑩保護者と緊急時にも連絡が取れるように連絡網を整備した。
	H29	①食育…食材及び調味料は添加物、放射線に注意を払い、極力国産品を使用し、米は栄養価を考え胚芽米を使用した。薄味を心がけ、おやつは手作りとした。アレルギー児には代替食を提供した。 ②環境…子どもたちが清潔で安全な環境の中で生活できるよう室内及び室外の清掃、整理整頓に努めた。また、各部屋には空気清浄機を設置している。さらに、定期的に園庭とグラウンドの石やゴミ拾いを実施した。 ③子どもがぶつかり危険だと思われる箇所(室内及び園庭)をクッション材で保護し、安全性を高めた。 ④災害対策…年1回の引き渡し訓練や毎月の避難訓練の実施により、避難経路や避難方法の確認等をするともに、生命を守る大切さを経験を通じ園児に学ばせた。非常食の保管等の確認も定期的実施した。又、園児に非常食を提供し、災害時における食を経験させた。 ⑤防火管理者(園長)を中心として、自主消防隊を設置し、日常的に点検や確認を実施し予防に努め、万一の場合は、学校110番への非常通報により対処する体制を整えている。 ⑥不審者と疑われる人には職員が力を併せて対応し、その後、必要に応じ派出所に連絡をする体制を整えている。園児のお迎えの人の変更の連絡がない場合には引き渡しをせず、確認が取れた時点で引き渡すようにした。万一の場合には、学校110番への非常通報により対処する体制を整えている。又、福生警察署の協力及び指導のもと、不審者対応訓練や子どもへの指導を行った。 ⑦年齢に応じて、危険なことが自覚できる指導を徹底した。 ⑧園外保育等では、行き先や園児の状況も考慮し、細心の注意を払いながら引率者数を決定した。 ⑨関係機関との連絡を密にし、誤りのない対応を心がけ、被害を起こさない、もしくは被害を最小限度にとどめるよう努めた。 ⑩緊急時でも保護者と連絡が取れるように連絡網を整備した。
H30	①食育…食材及び調味料は添加物、放射線に注意を払い、極力国産品を使用し、米は栄養価を考え胚芽米を使用した。薄味を心がけ、おやつは手作りとした。アレルギー児には代替食を提供した。 ②環境…子どもたちが清潔で安全な環境の中で生活できるよう室内及び室外の清掃、整理整頓に努めた。また、空気清浄機やエアコンを適切に使用し、子どもたちの体調管理に努めた。さらに、定期的に園庭とグラウンドの石やゴミ拾いを実施した。 ③子どもがぶつかり危険だと思われる箇所(室内及び園庭)をクッション材で保護し、安全性を高めた。 ④災害対策…年1回の引き渡し訓練や毎月の避難訓練の実施により、避難経路や避難方法の確認等をするともに、生命を守る大切さを経験を通じ園児に学ばせた。非常食の保管等の確認も定期的実施した。また、園児に非常食を提供し、災害時における食を経験させた。 ⑤防火管理者(園長)を中心として、自主消防隊を設置し、日常的に点検や確認を実施し予防に努め、万一の場合は、学校110番への非常通報により対処する体制を整えている。 ⑥不審者と疑われる人には職員が力を併せて対応し、その後、必要に応じ派出所に連絡をする体制を整えている。園児のお迎えの人の変更の連絡がない場合には引き渡しをせず、確認が取れた時点で引き渡すようにした。万一の場合には、学校110番への非常通報により対処する体制を整えている。また、福生警察署の協力及び指導のもと、不審者対応訓練や子どもへの指導を行った。 ⑦年齢に応じて、危険なことが自覚できる指導を徹底した。 ⑧園外保育等では、行き先や園児の状況も考慮し、全職員で危険の少ない方法を検討及び実行したことにより、子どもたちの安全確保に努めた。 ⑨関係機関との連絡を密にし、誤りのない対応を心がけ、被害を起こさない、もしくは被害を最小限度にとどめるよう努めた。 ⑩災害や緊急時でも保護者と連絡が取れるよう連絡体制(園からの一斉メール配信の導入等)を整備した。 ⑪感染症の流行時期には、事前に保護者へ周知し、子どもたちの体調管理に役立ててもらっている。また、園でも視診を確実に実施した。	

入所者の要望の把握及び苦情処理体制	前指定末(H27)	①一日保育士体験、誕生会や行事ごとにアンケートを配付、回収し、結果を分析のうえ、その都度、改善できる点は改善するよう努めた。 ②懇談会等で出された要望は、職員会議等で話し合い、改善できる点は改善に努めた。 ③乳児棟の玄関に意見箱を常時設置している。 ④第三者委員を設置し、中立及び公正な立場で苦情を受け止め、解決にあたる。 ⑤面談や登園及び降園時の保護者との対話を大切にし、利用者の不安や不満、要望を把握し、全職員の共通理解のもと、その解決に向け努力した。利用者の声を反映させ、幼児棟の日除けの設置等を行った。トラブルが発生した場合は、正確な情報の把握に努め、園長及び主任を窓口としてその対応に当たり、誠意をもって解決に向け努力する。場合によっては、第三者委員に間に入ってもらい、円満に解決できるように解決できるように対処する。
	H28	①一日保育士体験、誕生会や行事ごとにアンケートを配布・回収し、結果を分析の上、その都度、改善できる点は改善するよう努めた。 ②懇談会等で出された要望は、職員会議等で話し合い、改善できる点は改善に努めた。 ③乳児棟の玄関に意見箱を常時設置している。 ④面談や登園及び降園時の保護者との対話を大切にし、利用者の不安や不満、要望を把握し、全職員の共通理解のもと、その解決に向け努力した。トラブルが発生した場合は、正確な情報の把握に努め、園長及び主任を窓口としてその対応に当たり、誠意をもって解決に努力している。場合によっては、第三者委員に間に入ってもらい、円満に解決できるようにしている。
	H29	①一日保育士体験、誕生会や行事ごとにアンケートを配布・回収し、結果を分析の上、その都度、改善できる点は改善するよう努めた。 ②懇談会等で出された要望は、職員会議等で話し合い、改善できる点は改善に努めた。 ③乳児棟の玄関に意見箱を常時設置している。 ④面談や登園及び降園時の保護者との対話を大切にし、利用者の不安や不満、要望を把握し、全職員の共通理解のもと、その解決に向け努力した。トラブルが発生した場合は、正確な情報の把握に努め、園長及び主任を窓口としてその対応に当たり、誠意をもって解決に努力している。場合によっては、第三者委員に間に入ってもらい、円満に解決できるようにしている。
	H30	①保育参加や誕生会、行事ごとにアンケートを配布・回収し、結果を分析の上、その都度、改善できる点は改善するよう努めた。 ②懇談会等で出された要望は、職員会議等で話し合い、改善できる点は改善に努めた。 ③乳児棟の玄関に意見箱を常時設置している。 ④面談や登園及び降園時の保護者との対話を大切にし、利用者の不安や不満、要望を把握し、全職員の共通理解のもと、その解決に向け努力した。トラブルが発生した場合は、正確な情報の把握に努め、園長及び主任を窓口としてその対応に当たり、誠意をもって解決に努力している。場合によっては、第三者委員に間に入ってもらい、円満に解決できるようにしている。

業務収支

収入の部		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	H31	H32
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		163,429,438	162,463,652	170,737,166	187,586,174		円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		3,145,675	2,982,555	467,080	1,766,140		円
利用料収入（延長保育料・一時預かり利用料）		114,000	149,500	52,000	58,000		円
その他収入		2,208,630	10,278,116	17,367,008	18,271,767		円
収入の部 合計	算定	168,897,743	175,873,823	188,623,254	207,682,081		円
	実収入	168,472,743	175,448,823	188,198,254	207,257,081		円

支出の部		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	H31	H32
人件費		144,778,056	146,247,677	165,242,327	171,944,198		円
事務費		8,376,035	10,501,428	8,018,113	9,718,917		円
事業費		13,304,178	12,939,143	13,301,471	13,086,136		円
施設整備費		693,165	462,456	756,298	2,397,251		円
その他支出		2,093,850	2,107,207	2,176,100	2,236,300		円
支出の部 合計		169,245,284	172,257,911	189,494,309	199,382,802		円

収支差引	算定	-347,541	3,615,912	-871,055	8,299,279		円
	実収支	-772,541	3,190,912	-1,296,055	7,874,279		円

指定管理者自己評価 ※平成24年度分より追加

コスト削減に対する取組み	前指定末 (H27)	①紙の無駄遣いをせず、再利用した。 ②電気、ガス、水道の節減を心がけた。一部改善はみられるが、十分ではないため、さらなる努力をしたい。
	H28	①紙の無駄遣いをせず、再利用するよう徹底した。 ②電気、ガス、水道の節減を心掛けるよう徹底した。幼児棟のトイレには自動止水栓を設置し水の節減ができた。
	H29	①紙の無駄遣いをせず、再利用するよう徹底した。 ②電気、ガス、水道の節減を心掛けるよう徹底した。幼児棟のトイレには自動止水栓を設置し、水の節減ができた。
	H30	①製作用用紙等保育教材の在庫を確認しながら、無駄のないように使用した。 ②電気、ガス、水道の節減を心掛けるよう徹底した。幼児棟のトイレ及び6歳児手洗い場に自動止水栓を設置し、水の節減ができた。

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

自主事業の実施状況	前指定末 (H27)	①毎週水曜日、園庭開放及び園児との交流 ②第四小学校との交流（年2回、相互に訪問） ③看護師によるワンポイントアドバイス、園長及び主任による育児相談 ④希望に応じて保育園案内及び保育の説明 ⑤地域の方との交流（地域ボランティアによる読み聞かせ） ⑥5歳児は、探検隊事業を実施し、自然への興味及び関心を促した。 ⑦誕生会への保護者の参加率は9割以上となり、誕生会後は子どもたちと遊ぶ等、有意義な日となった。 ⑧毎月、園だよりの中で、園長が保護者に子育てに関するメッセージを送った。 ⑨一日保育士体験を実施し、保護者に保育園の活動や子どもへの理解を深めてもらった。
	H28	①毎週水曜日、園庭開放及び園児との交流 ②第四小学校との交流 ③見学者等への園長及び主任による育児相談 ④希望に応じて保育園案内及び保育の説明 ⑤4歳児には絵の具に慣れる活動を取り入れた。 ⑥5歳児には探検隊事業を実施し、自然への興味関心を促している。 ⑦0歳児から5歳児まで、リズム指導を取り入れている。 ⑧3歳児から外部専門講師による体育指導を取り入れている。 ⑨誕生会には、9割以上の保護者が参加し、誕生会後は子どもたちと遊ぶ等有意義な日となった。 ⑩毎月発行している園だよりの中で、園長から保護者へ子育てに関するメッセージを送っている。 ⑪一日保育士体験を実施し、保護者に保育園の活動や子どもへの理解を深めてもらった。
	H29	①毎週水曜日、園庭開放及び園児との交流 ②第四小学校との交流 ③見学者等への園長及び主任による育児相談 ④希望に応じて保育園案内及び保育の説明 ⑤4歳児にはクラフト活動を4回実施し、絵の具に慣れる活動を取り入れた。 ⑥5歳児には探検隊事業を実施し、自然への興味関心を促している。 ⑦0歳児から5歳児まで、リズム指導を取り入れている。 ⑧3歳児から外部専門講師による体育指導を取り入れている。 ⑨誕生会には、9割以上の保護者が参加し、誕生会後は子どもたちと交流を持ち、有意義な時間を過ごした。 ⑩毎月、園長から保護者に「子育て通信」を発行し、子育てに関するメッセージを送った。 ⑪一日保育士体験を実施し、保護者に保育園の活動や子どもへの理解を深めてもらった。
	H30	①家庭支援の一環として園の行事や園庭開放等のポスターを近隣の店舗に掲示し、事業の周知を図った。 ②見学者等への園長及び主任による育児相談、保育園案内 ③第四小学校との交流 ④園内研修における外部研修の報告、外部講師による研修会を実施した。 ⑤保育の充実に向けて、職員会議、部会及びケース会議を実施した。 ⑥0歳児から5歳児まで、リズム指導を取り入れた。 ⑦3歳児から外部専門講師による体育指導を取り入れた。 ⑧誕生会には、9割以上の保護者が参加し、誕生会後は子どもたちと交流を持ち、有意義な時間を過ごした。 ⑨毎月、園長から保護者に「子育て通信」を発行し、子育てに関するメッセージを送った。 ⑩保育参加及び個人面談を実施し、保護者と職員の共通理解を深め、信頼関係を構築した。
保育の質の改善（職員研修等）	前指定末 (H27)	①法人として蓄積してきた子育ての知識、経験、技術を活用し、子どもの健全育成及び子育てに関して家庭の支援を図った。 ②園長を含む全職員の資質向上により、より良い保育事業を提供することが何よりも大切であるため、研修に積極的かつ主体的に参加できるようにし、自己研鑽に励んだ。 ③保育指針に基づく計画と実践及び自己評価 ④園内研修における外部研修の報告、外部講師による研修会の実施 ⑤職員会議及び部会等で、ケース会議、保育の充実に向けて、保護者対応について等の話し合い ⑥懇談会や面談で得た子どもに関する情報を職員で共有し、保育活動に活かした。 ⑦常時外部研修の紹介（年20回以上） ⑧良質な環境での保育（1歳児の床暖房の張替、保育で使用する部屋での空気清浄機の使用等）
	H28	①法人として蓄積してきた子育ての知識、経験、技術を活用し、子どもの健全育成及び子育てに関して家庭の支援を図った。 ②園長を含む全職員の資質向上により、より良い保育事業を提供することが何よりも大切であるため、研修に積極的かつ主体的に参加できるようにし、自己研鑽に励んだ。 ③保育指針に基づく計画策定及び実践、自己評価の実施 ④園内研修における外部研修の報告、外部講師による研修会の実施 ⑤職員会議及び部会等で、ケース会議、保育の充実に向けて、保護者対応等の話し合い ⑥懇談会や面談で得た子どもに関する情報を職員で共有し、保育活動に活かした。 ⑦常時外部研修の紹介（年20回以上） ⑧良質な環境での保育（保育をはじめ園児が使用する部屋への空気清浄機の設置等）
	H29	①法人として蓄積してきた子育ての知識、経験、技術を活用し、子どもの健全育成及び子育てに関して家庭の支援を図った。 ②園長を含む全職員の資質向上により、より良い保育事業を提供することが何よりも大切であるため、研修に積極的かつ主体的に参加できるようにし、自己研鑽に励んだ。 ③保育指針に基づく計画策定及び実践、自己評価の実施 ④園内研修における外部研修の報告、外部講師による研修会の実施 ⑤職員会議及び部会等で、ケース会議、保育の充実に向けて、保護者対応等の話し合い ⑥懇談会や面談で得た子どもに関する情報を職員で共有し、保育活動に活かした。 ⑦常時外部研修の紹介（年20回以上） ⑧良質な環境での保育（保育をはじめ園児が使用する部屋への空気清浄機の設置等）
	H30	①法人として蓄積してきた子育ての知識、経験、技術を活用し、子どもの健全育成及び子育てに関して家庭の支援を図った。 ②園長を含む全職員の資質向上により、より良い保育事業を提供することが何よりも大切であるため、研修に積極的かつ主体的に参加できるようにし、自己研鑽に励んだ。 ③保育指針に基づく計画策定及び実践、自己評価の実施 ④園内研修における外部研修の報告、外部講師による研修会の実施 ⑤職員会議及び部会等で、ケース会議、保育の充実に向けて、保護者対応等の話し合い ⑥懇談会や面談で得た子どもに関する情報を職員で共有し、保育活動に活かした。 ⑦常時外部研修の紹介（キャリアアップ研修で職員の意欲の向上を図った。） ⑧子どもたちが使いやすく、居心地がよい環境整備のため、職員会議で意見交換し、優先順位を決定して環境整備を行った。

利用者の満足度 (アンケート等 客観的もの)	前指定末 (H27)	第三者評価は未実施。利用者の声を吸い上げる方法として、行事や一日保育士等でアンケートを実施し、おおむね好評を得たが、回収率を向上するため、質問事項の工夫等、研究していきたい。	
	H28	第三者評価アンケートの実施 (株式会社福祉規格総合研究所による) 総合的な満足度64.6%	
	H29	行事ごとにアンケートを取り、保護者の満足度を調査した。回収率31～42%と有効回収率に課題があるものの、80%以上の方から満足しているとの回答が得られた。	
	H30	行事ごとにアンケートを取り、保護者の満足度を調査した。回収率は48%で昨年度より上がり、80%以上の満足度が得られたが、来年度への行事内容の見直し等を行い、さらに楽しめる行事となるよう検討していく。	
安全管理等 ※平成24年度 より追加	前指定末 (H27)	事故・苦情対応	苦情の窓口、第三者委員の明示
		事故防止策	月2回の安全点検 (保育士及び用務員による)、年1回の防犯訓練の実施
		避難訓練等	月1回の避難訓練、年1回の引渡し訓練の実施
	H28	事故・苦情対応	苦情の窓口、第三者委員会の設置の明示
		事故防止対策	月2回の安全点検 (保育士及び用務員)、年1回の防犯訓練の実施
		避難訓練等	月1回の避難訓練、年1回の引き渡し訓練の実施
	H29	事故・苦情対応	苦情の窓口、第三者委員の明示
		事故防止対策	月2回の安全点検 (保育士及び用務員)、年1回の防犯訓練の実施
		避難訓練等	月1回の避難訓練、年1回の引き渡し訓練の実施
	H30	事故・苦情対応	苦情の窓口、第三者委員の明示
		事故防止対策	月2回の安全点検 (保育士及び用務員各1回)、年1回の防犯訓練の実施、登園時間以外は電子錠をし、来訪者の確認をしている。
		避難訓練等	月1回の避難訓練、年1回の引き渡し訓練の実施

その他

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	H31	H32			
建設経費 (元利返還費用)	建設費	95,550,000	95,550,000	95,550,000	95,550,000			円		
	償還利息	0	0	0	0			円		
利用者1人あたりの経費 (指定管理料等及び指定管理料等 +建設経費)	利用者数	1,466	1,493	1,493	1,428			人/年間		
	管理経費または指定管理料等	166,575,113	165,446,207	171,204,246	189,352,314			円		
	管理経費または指定管理料等 /人	113,626	110,815	114,671	132,600			円/人		
	(管理経費または指定管理料 +建設費) /人	178,803	174,813	178,670	199,511			円/人		
修繕費 (協定等に基づく指定管理 者負担上限額: 100万円/件)	指定管理者が 行なった修繕	件数	4	5	8	7		件		
		金額	1,155,742	689,244	465,884	553,100		円		
	町が行なった 修繕	内容	件数	1	1	0	1		件	
			金額	2,678,400	2,513,160	0	1,299,240		円	
			内容	屋根防水工事	屋根防水等工 事	なし	油焚鋼板製温 水ボイラー修 繕			
			内容	1歳児床暖張替 工事、花壇 フェンス工 事、給食室エ アコン修理、 感知器交換	幼児棟トイレ、 0・1歳クラス押 入扉、2歳児クラ ステラスフエン ス、給湯ボイ ラー循環ポン プ、乳児棟受 水槽、幼児棟蛍 光灯	アーバンタイ ル補修、ガラ ス交換、ス チームコンパ クション修 理、サロンド ア修理、エア コン修理、イ ンターホン取 替、固定遊具 修理、蛍光灯 器具取替	乳児棟玄関ガ ラス戸交換、 乳児棟玄関屋 根修繕、掲示 板修繕、2歳児 室引き戸ガラ ス交換、保育 室床修繕、門 扉電気錠取 替、ガステー ブル修繕			
東京都指導監査	指摘事項	未実施	未実施	未実施	未実施					
遵法検査	冷暖房設備 (法定1回)	1	1	1	1					
	消防法設備点検 (法定年2回)	2	2	2	2					
	管理専用水道検査 (法定2回)	2	2	2	2					

総括

		H28	H29	H30	H31	H32	
経費比較（指定前と指定後） ※実経費では、「職員の投入実態」及び「物品の提供実態」を除外	算定	指定後	165,446,207	171,204,246	189,352,314		円
		前指定前末（H27）	166,575,113	166,575,113	166,575,113		円
		比較	-1,128,906	4,629,133	22,777,201		円
	実経費	指定後	165,021,207	170,779,246	188,927,314		円
		前指定前末（H27）	166,150,113	166,150,113	166,150,113		円
		比較	-1,128,906	4,629,133	22,777,201		円
評価	前指定末（平成27年度）						
1次評価 担当課	同法人による指定管理者再指定5年目を終え、安定した保育を実施している。これまでの実績を踏まえ、12月町議会本会議において、平成28年度から5年間の指定管理者として同法人が指定された。屋根防水工事の実施等の公的援助増により全指定末より経費は増額となった。その他、指定管理者による施設修繕が積極的に実施され、良好な環境での保育運営がされている。						
2次評価 指定管理者選定 委員会	【主な効果】 地域の特性をいかした事業を展開し、安定した保育を実施している。指定管理者による施設修繕が積極的に実施され、良好な環境での保育運営が行われている。 【主な指摘】 保護者へのアプローチを意欲的に行い、家庭での子育て支援に繋がる自主事業の推進と利用者の満足度を向上させられるよう効率的な運営を望む。						
評価	平成28年度（1年度目）						
1次評価 担当課	むさしの保育園は、平成28年度から同法人が再々指定となった。様々な家庭環境の世帯が多い地域であるため、園だよりや保護者会、一日保育士体験等を通して、子育て意識の啓蒙に努めている。また、「じょうぶなからだ」をつくることを目標として、外部講師による体育指導、素材の持ち味を大切に薄味を心がけた給食の提供等、積極的に取り組んでいる。						
2次評価 指定管理者選定 委員会	【主な効果】 園だよりや保護者会、一日保育士体験等を通じて、子育て意識の啓蒙に努めている。また、「じょうぶなからだ」をつくることを目標に、外部講師による体育指導、素材の持ち味を大切に給食の提供等、積極的に取り組んでいる。 【主な指摘】 アンケートの回収率が低いため、保護者の要望を的確に捉えるためにも改善が必要である。保育の質の向上とともに利用者の満足度が向上する効果的な施設運営を希望する。						
評価	平成29年度（2年度目）						
1次評価 担当課	様々な家庭環境の世帯が多い地域であるため、子育て通信や保護者会、一日保育士体験等を通して、子育て意識の啓蒙に努めている。又、安全安心面からの運営及び環境整備として、園児に非常食を提供し災害時の食を体験させたり、各種施設修繕を実施したりする等、積極的に取り組んだ。						
2次評価 指定管理者選定 委員会	【主な効果】 子育て通信、保護者会、一日保育士体験等を通して、子育て意識の啓蒙に努めている。また、安全・安心面からの運営及び環境整備として、園児との災害時非常食体験や各種施設の修繕に積極的に取り組んでいる。 【主な指摘】 アンケートの回収率が低いことから、要望等の把握に改善措置が必要である。安全・安心面における園の運営について積極的に取り組んでおり、利用者の満足度が向上する効果的な施設運営を希望する。						
評価	平成30年度（3年度目）						
1次評価 担当課	前指定末との経費を比較すると、運営費（公定価格）増、東京都補助制度の保育士等キャリアアップ補助金相当分の委託料増により、22,777,201円増額となっている。また、施設設備が老朽化しており、児童の保育環境を良好に維持するため、町及び指定管理者ともに積極的な施設整備を実施した。						
2次評価 指定管理者選定 委員会	【主な効果】 児童の保育環境を良好に維持するため、町及び指定管理者ともに積極的な施設整備を実施した。危機管理体制の強化として、災害や緊急時に保護者との連絡が取れる仕組みを整備し保護者の安心につなげている。 【主な指摘】 アンケートの回収率が低いことから、行事ごとに機会を捉え保護者の意見を聴く方針は高く評価する。今後も、アンケート回収率の改善と行事内容の見直し等、更なる利用者満足度の向上に期待する。						